アンドロメダ銀河領域における 重力マイクロレンズ効果による 宇宙ひもの探査

東京大学/カブリIPMU D2 新倉広子

Collaborators: Masahiro Takada, Naoki Yasuda (Kavli IPMU) , Robert Lupton (Princeton), Takahiro Sumi (Osaka),Sachiko Kuroyanagi (Nagoya).

アンドロメダ銀河領域における 重力マイクロレンズ効果による <u> 原始ブラックホール</u>探査

東京大学/カブリIPMU D2 新倉広子

Collaborators: Masahiro Takada, Naoki Yasuda (Kavli IPMU) Robert Lupton (Princeton), Takahiro Sumi (Osaka),.. 観測: 原始ブラックホールによる 重力レンズ候補天体の広天域探索

- ダークマターの候補の1つで ある原始ブラックホール (PBH)による重力レンズ候補 天体の探索。およびPBHの 存在量の制限を導出
- すばる広視野カメラ(Hyper Suprime-Cam; HSC)により
 - ★ 短いタイムスケールかつ暗 い時間変動天体の広域探索 が初めて可能
- アンドロメダ銀河(M31)領域
 で、2分間隔で7時間分の
 データ取得 (r-band)





アンドロメダ銀河領域における 重力マイクロレンズ効果による 宇宙ひもの探査

東京大学/カブリIPMU D2 新倉広子

Collaborators: Masahiro Takada, Naoki Yasuda (Kavli IPMU) , Robert Lupton (Princeton), Takahiro Sumi (Osaka),Sachiko Kuroyanagi (Nagoya)..

Outline

HSCでアンドロメダ銀河 (M31)領域を時間軸変動サーベイ

- ・イントロ: 宇宙ひもと重カレンズ
- ・ 観測: すばるHSCでの探査可能性
- 考察: 宇宙ひもの存在量への制限

Intro. 宇宙ひも

宇宙ひも: 1次元の位相欠陥。初期宇宙で生成 (Kibble, Zeldovich, Vilenkin, ... 1970-1980's)

- ★ 生成メカニズム
- Phase transition

CMB観測により宇宙の構造形成の種となる 可能性 (Gµ~10⁻⁶) は棄却 (COBE, 1990's) Inflationの間に生成される可能性 (Kibble 2004, Plank, 2013)

Cosmic superstrings

Dブレーン起源説 etc.

── ビックバン直後の初期宇宙の情報



Intro. 宇宙ひもパラメータと観測的制限

宇宙ひもを記述するパラメータ

- Gµ: tension (= 線密度)
- p: 再結合する確率

(phase transition: p=1, cosmic superstring: p=10⁻³-1)

観測による探査

- CMB温度ゆらぎ Gµ <~10⁻⁷
- 重カレンズ (infinite string) Gµ <~10⁻⁶
- 重力波生成 (pulsar timing, LIGO GWB) Gµ <~10⁻⁹, 10⁻⁷

→ 宇宙ひもループの重力マイクロレンズ: Gµ <~10⁻¹⁰

Intro. 宇宙ひもの進化

- く・スケーリング則: 再結合してloop生成。
 ・重力波生成: ループは振動してエネルギー減少



• 自己相似的な進化を示し、宇宙の地平線内に 常にO(0-10)個の長いひもが存在 (Vilenkin et al. 2000)



Intro. 宇宙ひもループの性質

•	ループの長さ	$l_g = \Gamma_R G \mu t_{\text{today}} = 41 \text{pc} \left(\frac{\Gamma_R G \mu}{10^{-8}} \right) \left(\frac{t_{\text{today}}}{13.5 \text{Gyr}} \right) ($ 最小)、長)
		$l(t,t_i) = \alpha t_i - \Gamma G \mu (t-t_i)$ $\overrightarrow{\text{nine}} \overrightarrow{\text{nine}}$
•	典型的な質量	$M_g = 1.7 \times 10^5_{\odot} \left(\frac{G\mu}{2 \times 10^{-10}}\right) \left(\frac{\Gamma_R}{50}\right) \tag{(1)}$
•	ループの寿命	$\frac{\text{(initial loop energy)}}{\text{(energy release per time)}} = \frac{\mu \alpha t_i}{\Gamma G \mu^2} = \frac{\alpha t_i}{\Gamma G \mu} \qquad $
•	存在比 ex.	$rac{\Omega_{ m long}}{\Omega_{ m loop}} = 4.4 imes 10^{-4} \sqrt{rac{G\mu}{10^{-10}}}$ Olum et al. (2006)
	小さいtensionで(よ ループ >>infinite strings

Intro. 重力レンズマイクロレンズ効果



点源によるマイクロレンズ増光

- タイムスケールはMACHO(1M_{sun}) だと典型的に数ヶ月、PBH (10⁻⁷M_{sun})は1時間もありうる
- たくさん背景星がある領域でレー トが高くなることが期待される





 $l_{\rm max}$

宇宙ひもによるマイクロレンズ効果

マイクロレンズ増光のライトカーブ



宇宙ひもループによる増光

- ひもの欠損角により空間が変形
 2つ像が出来るため増光率は2倍
- 振動により反復的な増光を生じる





 l_{\max} ,

モデル: M31観測でのマイクロレンズ増光

宇宙ひも分布 ∝ダークマター分布

 MWおよびM31銀河ハローの質量プロファイル (Klypin 2002) に伴う overdensity (Tye & Chernoff 2014)



モデル: 宇宙ひもの数密度

ループの数密度:
$$\bar{n} = \frac{\rho_{loop}}{\mu l_g} = \int dl \frac{dn}{dl} \frac{l}{l_g} \propto \mu_{-13}^{-3/2} \, 10^{(-2\log 10(p))}$$

tension (Gµ) が小さいほど、再結合確率 (p) が小さいほど 数密度が高くなる (Chernoff & Tye 2014)



宇宙ひもマイクロレンズのoptical depth

Optical depth: アンドロメダ銀河の星 (770kpc) 1個が手前の ループのアインシュタイン半径に入る、ある瞬間での確率

cross section



10⁸個の星を観測するとO(1)個受かる可能性

Observation: M31-disk 周りの宇宙ひも探査

すばるHyper Suprime-Cam (HSC) による広視野探査

- 1視野でM31のディスクと バルジの全体をカバー。
- 高解像度で深い画像を活かして
 統計的な宇宙ひも探査を初めて達成
- アンドロメダ銀河(M31)領域で、2分 間隔で7時間分のデータ取得 (r-band)



Analysis: 変光天体の検出 (差分画像法)

Pixel lensing regime: M31領域では各pixelにO(100)の星



X





ピクセルサイズの天体 歪んだ天体 Fluxが星らしくない天体



Analysis: M31-disk 周りの変光天体の分布



HSC-M31 focal plane

More than 10,000 transient candidates in one field-of-view of HSC.

Cepheid variable

asteroid

stellar flare

eclipsing binary

contact binary





Analysis: 宇宙ひもマイクロレンズの探査



HSC-M31の観測でtop-hat型の ライトカーブを探査



タイムスケール: $\delta t_{\text{lens}} = \frac{R\theta_E}{c} = 6.3 \times 10^3 \text{sec} \left(\frac{R}{100 \text{kpc}}\right) \left(\frac{G\mu}{2 \times 10^{-10}}\right)$ 2分-3時間のイベントに感度 (反復性はなし) 今のところマイクロレンズイベントは0個と仮定 (analysis ongoing...)

考察: 宇宙ひもマイクロレンズのイベントレート



- MW-M31間 (-770kpc) に宇宙ひもが存在する条件
- M31の1つの星を観測したときに、あるタイムスケールのイベント が単位時間あたりに受かるレート (M31では10⁸個の星を観測)



Prediction: 宇宙ひもパラメータへの制限



宇宙ひもの観測に対する新たな制限の可能性!





- 宇宙ひもマイクロレンズ効果の観測可能性の検証
- 広視野カメラHSCによるM31観測でのマイクロレンズイベントの期待値の見積もりから、tensionがGµ =10⁻¹³-10⁻⁹ 程度のsuperstring起源 (p =10⁻³-10⁻¹)の宇宙ひもの存在量に対して初めて観測的制限を得た
- Future works :
 - HSC-M31データでの詳細なイベント探査



ご清聴ありがとうございました!